



令和2年6月8日  
十日町市環境衛生課

## 2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明について

市では、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを表明します。

※排出実質ゼロ：二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること

### 1 内 容

環境省では、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す旨を首長自らが又は地方公共団体として表明した地方公共団体を「ゼロカーボンシティ」としています。

「選ばれて住み継がれるまち」を目指すまちの姿に掲げ、「環境にやさしく自然と調和するまち」を政策理念として標榜する本市として、ゼロカーボンシティ・十日町市の実現に向け、地域資源を活用した再生可能エネルギーの最大限の創出や省エネなど温暖化対策の取組をさらに加速させるとともに、他の幅広い分野でも総合的な取組を展開していきます。

### 2 その他

現在、計画期間中である「第二次十日町市環境基本計画」及び「十日町市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」は、令和3年度に見直しを予定しています。この見直し(改定)の中で、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを見据えた具体的な施策・取組を検討します。

6月2日現在、県内では佐渡市と粟島浦村の共同表明のみであり、単独の自治体としては初の表明となります。

### 3 添付資料

- ①小泉環境大臣からのメッセージ (2019. 12. 24)
- ②ゼロカーボンシティ・十日町市

#### ■お問合せ先

十日町市環境衛生課 環境企画係  
担当：佐藤 ☎025-752-3924 (直通)

気候変動問題は、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることのできない、緊喫の課題です。先日、国内各所に甚大な被害を及ぼした巨大台風の事例は記憶に新しいところですが、今も排出され続けている温室効果ガスの増加によって、今後、このような水害等の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現すべき事態と考えております。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されるとともに、昨年公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までにCO<sub>2</sub>の実質排出量をゼロにすることが必要」とされております。

こうした目標の達成に向け、国際的な議論の場における重要なキーワードの一つが「ノン・ステート・アクターによる自主的な取組」、これは地方自治体や、民間企業、NPO等の主体による取組を指します。

東京都・山梨県・横浜市・京都市などから始まった、日本の自治体による2050年までのCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）表明は、現在29の自治体、人口で45百万人、GDPで2兆ドルに相当するまでに至っております。これは人口規模で米国カリフォルニア州約3900万人を超え、スペイン約4700万人に迫るものです。

こうした取組について、スペイン・マドリードで開催されたCOP25で発信し、国際的にも高く評価されたところです。日本国内の力強い取組をしっかりと発信するとともに、パリ協定の目標達成に向け、引き続き2050年ゼロカーボンを目指す先進的な動きが更に広まりますよう、御支援、御協力をよろしく願いたします。

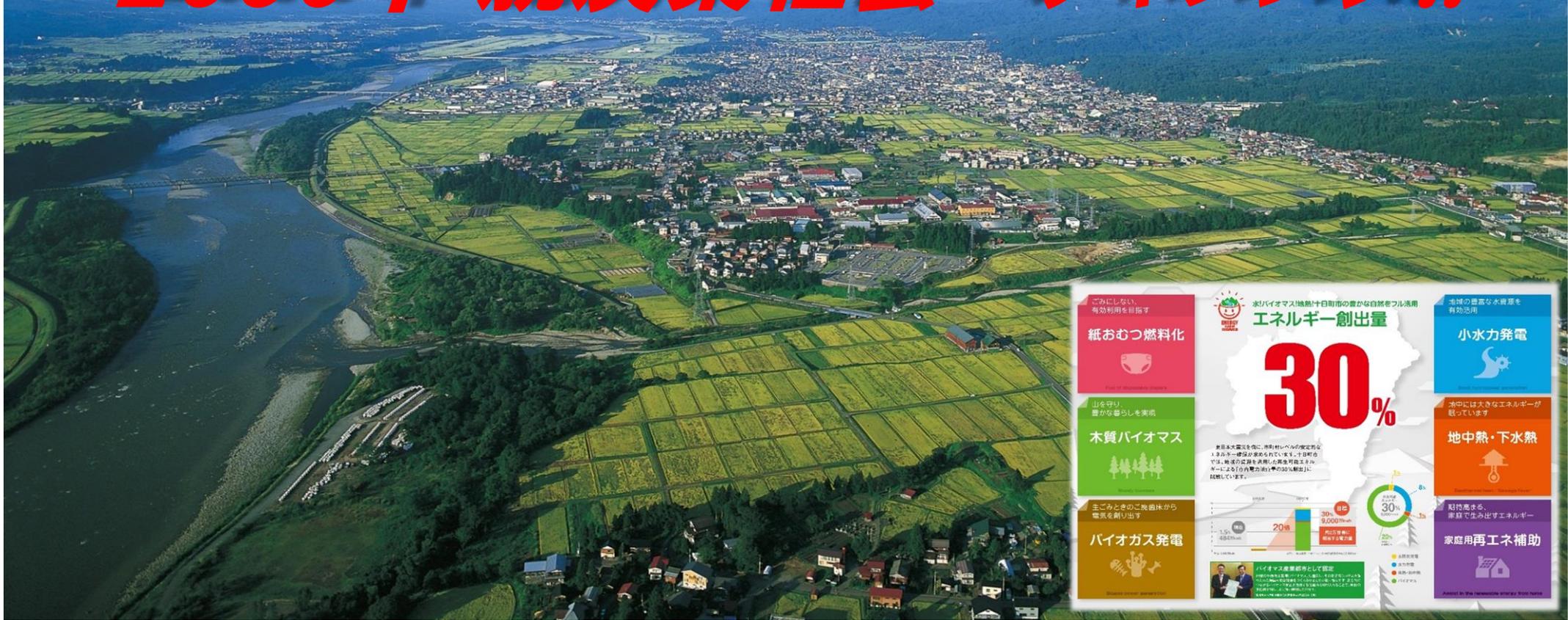
環境大臣 小泉進次郎



未来の  
ために、  
いま選ぼう。



# ゼロカーボンシティ・十日町市 ~2050年 脱炭素社会へチャレンジ!!~



水バイオマス燃料付日町市の豊かな自然をフル活用  
エネルギー創出量

# 30%

※日本水産庁発表の、県別村への特定再生可能エネルギーの導入目標を参考に、十日町市では、地産のエネルギーを最大限に活用可能なエネルギーによる再生可能エネルギー創出目標を設定しています。

2020年 30% (9,000tCO<sub>2</sub>e削減)

2025年 30% (9,000tCO<sub>2</sub>e削減)

2030年 30% (9,000tCO<sub>2</sub>e削減)

バイオマス産業都市として認定

バイオマス産業都市として認定  
バイオマス産業都市として認定  
バイオマス産業都市として認定

ごみにしない、有効利用を目指す  
紙おむつ燃料化

山を守り、豊かな暮らしを未来へ  
木質バイオマス

主でふとまのくで農産物から  
バイオガス発電

地域の豊富な水資源を有効活用  
小水力発電

水中には天然なエネルギーが眠っています  
地中熱・下水熱

期待できる、家庭で生み出すエネルギー  
家庭用再エネ補助

AMRIE BY THE FUTURE ENERGY WORLD PARTNER